



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT
Y'S MEN'S CLUB OF NARA
 C/O NARA YMCA, 2 Saidaiji Kunimi-cho, Nara Japan Tel. 0742-44-2207

CHARTERD SEPT. 14TH. 1950

ホームページ：<http://uchidakaikei.com/narawaizu/index.htm>

国際会長 主題：ともに、光の中を歩もう

Let us walk in the Light-together

アジア会長 主題：ワイズ運動を尊重しよう Respect Y's Movement

西日本区理事 主題：心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ

Healthy mind & healthy body make healthy club

阪和部長 主題：新しい友を作ろう！そして今ある友を大切に

会長：早川 哲治

副会長：内田・高井

書記：佐々木・(副)前田

会計：平井 洋三

直前会長：前田 敏宏

次期会長：高井 亮吉

特別会長：林 成子

10月
2017年

ブリテン
編集委員

佐藤 由佳
内田 勝久
辻野 啓一
林 佑幸
平井 洋三

クラブ会長標語：「奈良ワイズは、和合一つで」

10月 例会

とき 2017年10月9日(月・祝) 18:00～20:00

ところ あきしの保育園ホール

<プログラム> 司会 佐藤 由佳

1. 奈良クラブの歌 [今、心は少年少女]

2. 開会点鐘 会長

3. ワイズソング

4. 聖書・祈祷

5. ゲスト・ビジター紹介

6. 食前感謝

7. 卓話

講師：林 聖子 様

テーマ：「子供をとりまく環境について」

8. 誕生日のお祝い

9. YMCA ニュース

10. インフォメーション

11. YMCA の歌

12. 閉会点鐘 会長



[月間強調テーマ]

B F ・ E F

[今月の聖句]

「ヨナにとって、このことは大いに不満であり、彼は怒った。彼は、主に訴えた。『ああ、主よ、わたしがまだ国にいましたとき、言ったとおりではありませんか。だから、わたしは先にタルシシュに向かって逃げたのです。』」

ヨナ書 第4章 1節～3節

日本聖公会 奈良基督教会 司祭 井田 泉

旧約聖書の中に『ヨナ書』という短い書物があります。まるで小説のような内容です。神は悪しきニネベの人々の悔い改めを受け入れてニネベをゆるされるのですが、それがヨナには耐えがたく不満でした。彼は憤りを神にぶつけます。ヨナの気持ちに大いに共感するところがあるのですが、逆の見方をすれば、神はいくつもの過程を経て、ヨナを、祈る人に、課題を引き受ける人に、そして人の滅びではなく救いを願う人へと、造り変えて行かれる。そのようにも読むことができそうです。

2017年9月度クラブ統計

在籍会員	23名	メネット6名	
例会出席 (含. 広義会員 1名)	16名	コメント1名	<u>ニコニコ献金</u>
		ゲスト 0名	9月度: 24, 663円
出席率	85.3%	ビジター 10名	累計: 1, 525, 757円



例会 10月 9日(月・祝)18:00～20:00 あきしの保育園

役員会 10月 23日(月) 19:00～21:00 奈良YMCA

出席第一・親睦・協力奉仕

「のんびり楽しく富士山登頂2017」

(8/25～29・YMCA東山荘プログラム)

佐藤 由佳

会長通信

会長 早川 哲治



奈良ワイズメンズクラブの方々、今年の夏は暑かったですねえ！ほんとに暑かった！さて、今年に入って北朝鮮から何発ものロケット（ミサイル）が、日本海に向けて飛んできています。先月9月15日にも日本を超えて太平洋に向けてミサイルが飛んでいきました。で、今回は、防災について考えてみました。9月1日は、防災の日です。

阪神淡路大震災、新潟中越地震そして東日本大震災etc. 多くの方が倒れた家具の下敷きになったり、津波に流されたりして亡くなったり、大けがをしたりしました。大地震が発生したときには、「家具は必ず倒れるもの」と考えて、防災対策を講じておく必要がありますね。

災害による被害をできるだけ少なくするためには、一人ひとり自ら取り組み、一人ひとりが自分の身の安全を守ることです。特に災害が発生したときは、まず、自分が無事であることが最も重要です。災害に備え、自分の家の安全対策をしておくとともに、家の外において地震や津波などに遭遇したときの、身の安全の守り方を知っておくことが必要です。また、身の安全を確保し、生き延びていくためには、水や食料などの備えをしておきましょう。

防災対策には、十分とか絶対大丈夫というものはありません。一人ひとりが、自分の周りにどのような災害の危険が及ぶかを考え、その被害をできるだけ少なくするために必要な対策を講じることが重要です。

寝室や子ども部屋などには、できるだけ家具を置かないようにし、家具を置く場合は、転倒防止対策をとりましょう。また、家具が倒れてけがをしたり、出入り口をふさいだりしないように、家具の向きや配置を工夫しましょう。地震の発生時、それぞれの部屋にどのような危険があるのかを考えて、対策をして、手の届くところに、懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを備えておきましょう。

日本は地震大国といいますが、地震・台風・ゲリラ豪雨と今年も本当に多いですねえ。みなさま防災訓練・防災グッズのご準備はよろしいでしょうか？

長年の夢が叶い、8月に富士山の山頂に立つことが出来ました。これまで新幹線など遠くから見てみると、富士山の壮大さと神秘的な姿に近寄りたいたいものを感じていましたが、登ってみると、とてもあたたかい懐に抱かれているような感じがいたしました。

山口ルミさんと母と一緒に登れることとなり、靴や25Lのリュックなど、道具を揃えるところから始まりました。初めてのことで準備からドキドキしていましたが、東山荘に着いてからは、リーダーさんがテキパキと高山病にならないための歩き方や呼吸法、荷物の詰め方やリュックの高さチェックまですべて手取り足取り教えてくださり、安心して登るのみ！という心持ちになることが出来ました。

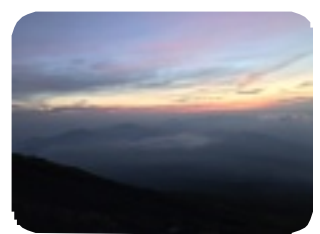
私たちが登った須走ルートは、あまり人がいないことと、最初は原生林の自然の中を通るため、鳥の鳴き声や高山植物を楽しみながら歩くことが出来ます。だんだん植物が少なくなり、6合目あたりの2700mを過ぎると森林限界と言われる地点を迎えます。そこから溶岩ばかりとなり、傾斜が厳しくなり、最後3500mを過ぎ、8.5合目あたりからは岩場を登るような足場が続き、思っていた以上に厳しいものでした。

参加してみても一番驚いたことは、参加者の中に6歳の年長さんが一緒に、8歳の女の子も8月2回目！「すごく楽しい！」と言って楽しそうに遊んでいたことです。富士山という日本一の山だからとか年齢とか体力がいたらとか言い訳をしている場合ではないなと子供たちに勇気をもらいました。私にとって、どんな人も温かく受け止めてくれるとても身近な山になりました。

忘れられないのは、広がる雲海の素晴らしさと頂上から下りながら見えた風景です。朝もやの中に山の稜線が幾重にも重なり、ご来光に照らされながら雲の間から山中湖が見えました。日本のすべての山が下に見えるという富士山からしか見えない景色を楽しませていただきました。

帰りはひたすら砂地を下りながら、圧倒的な自然を前にして、今までは人が作り上げた世界の中で自分で生きている気になっていたけれども、そんなものがなかった時代からずっとそこに「ある」という凄さを身に染みて感じました。

今回はリーダーさんについて登ることに必死すぎて、楽しめる余裕が少なかったので、次回はもっと「のんびり楽しく」登りたいと思います。



9月例会の様子

富士山山頂にて集合写真

朝日に照らされる山々



「子供理解の勉強会」

杉浦 文子

今期のメネット事業国内プロジェクトは「こどもの貧困」と「ひとり親家庭」などで、困難を抱えている子ども達の現状を学びましょうと提案されました。

奈良クラブのメネット会では早速“子ども理解の勉強会”が開かれ、社会福祉士の林聖子さんから子どもを取り巻く環境の現状を詳しく学びました。その中で、家庭では離婚等で「ひとり親家庭」が多くなっていて、6人に一人の子どもが貧困家庭を余儀なくされている。普通の家庭でも格差社会と非正規雇用の増大で誰でも簡単に貧困に陥る社会になっている事。又、地域や社会では住民間のつながりが希薄になっていて、孤立や排除に陥り易い事。学校では、いじめや休職教員の増加など色々の問題点がある事を知りました。そして貧困が原因で余裕が無くなると虐待に繋がって子どもの無気力や対人関係の困難など多くの影響が出てくる。だから、子どもの発達段階で親子関係や教育者の中で“余裕のある事が大切である”と言われました。又、子どもが嘘をつくのは“親に認められたい、その人に愛されたい”からなのだと言われました。

先日、新聞に貧困家庭に育った子は、十分な教育や生活習慣が身につけられず、成人後に再び生活が苦しくなる「貧困の連鎖」に陥る可能性が高いと報道されていました。

今、未来の担い手である子ども達を守ろうと、家庭環境や生活習慣の見守りが必要な子ども達を対象に食事を提供して、生活指導や学習指導をする「子ども食堂」の取り組みが全国に広がっています。9月のメネット例会の卓話でも奈良クラブの市本メンが天理市で取り組んでいる「子ども食堂」のお話をされました。又、阪和部で初めての試みとして大阪東YMCAが昨年からはじめられたリーダーと夕食を共にする「YMCA子ども広場」にワイズの方々が協力しておられる事も知りました。

今後私に何が出来るかを考えましたが、子育てを卒業した私は孫の世代が直面している現実を勉強させて頂いたので、その事をしっかり啓蒙していきたいと思えます。



奈良クラブの参加者



「阪和部会メネットの集いに参加して」

林 成子

部会に先駆けて午前にメネットの集いが開かれ、「フードバンクと子ども食堂」と題して、NPO法人フードバンク関西代表理事 浅葉めぐみ氏の講演がありました。

ラベル印字ミス、納品期限切れ、販売期限切れ、売れ残った、食べきれなかったなど、まだおいしく食べられるのに廃棄される食品が年間500万トン～800万トンあり、その一方で様々な理由で日々の食べ物にも事欠く人たちがいます。この両方を繋ぎ、企業や個人の方から食べられるのに廃棄される食品を受け取り、ボランティアの手で、それらを必要とする人たちに無償で届けて、食べ物として活用していただく活動がフードバンクとのことです。

家庭から排出される生ごみのうち、22%が手つかずの食品、その一方で片親所帯の50%以上が相対的貧困状態にあり6人に1人の子どもが、十分な食事や、教育の機会に恵まれない、貧困な環境の中で成長しているという調査結果が出ている。とのことでした。

その後、大阪堺YMCAの四方陽子主事から10月3日実施予定の、堺市と大阪YMCAとの協働プログラムである「さかいほっと広場」の説明があり、続いて大阪東YMCAの杉村徹主事から特養ホーム“YMCAサンホーム”での「YMCA子ども広場」の現状をお話いただきました。食品を無駄にしないで有効に活用する事、そして地域での居場所づくり、(子どもが安心して居れる場所、温かい食事、人のぬくもり)の大切さを感じました。

お知らせ

9月22日のメネット会において、下記の事が決定されました。

「今期メネット事業趣旨に基づいて、まずメネット自身がこの問題に関心を持ち、深く理解することに努め、通常例会の卓話に講師を招き、この問題を取り上げ、クラブ内の啓発を図り、今期中に、地域に向けてこの問題を啓発するため、チャリティー講演会を開催する。」

*10月20日(金)AM10時メネット会
YMCA 2階にて開催します。

*あきしの保育園へのクリスマスプレゼント
(フェルトの野菜、果物)は10月20日
までにご持参お願いします。

9月例会報告

内田 彩子

9月はメネット例会で、飯沼眞阪和部メネット主査をはじめ、沢山のビジターをお迎えして、賑やかな例会となりました。

卓話テーマは「地域に広げる子ども食堂」。卓話者は奈良クラブメンバーの市本貴志メンです。市本メンは、国家公務員特別職（国会議員公設秘書）を経て、現在地方自治体議員を務めておられます。行政の立場から、支援のための仕事をしっかりとやっていくという理念に立つことが大事であると感じておられます。

自立に必要な正しい「社会的相続」を伝える場所に…

子どもは身近な大人を見て育つため、親がお金を浪費したり不規則な生活習慣を続けていると、負の「社会的相続」が子に受け継がれ、貧困の連鎖をまねく・・・色々と考えさせられました。

【卓話者プロフィール】

テーマ：「子供をとりまく環境について」

講師：林 聖子 様

社会福祉士・特別支援教育士

京都、大阪においてスクールソーシャルワーカー / スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザーとして文部科学省事業初年度より活動し、子どもがよりよく生きる権利を保障するため、学校現場から子どもを取り巻く環境の調整を行っている。

社会福祉士事務所スマイルを開設し、家庭裁判所からの要請によって未成年後見、成年後見を受任し、児童、障がい者、高齢者の権利擁護活動を行っている。



YMCAだより 10月号

連絡主事 村上 一志

8月19日（土）に奈良YMCA創立55周年記念『I PRAY IN 奈良』を開催いたしました。

奈良YMCAは、これまで多くの皆様のお支えにより、「55年の時」を与えていただきました。その種を蒔いていただいたのが『奈良ワイズメンズクラブ』であり、大きく育てていただきましたのは、その人々の「愛ある導き」であります。

また、9月30日には、奈良YMCA大会を実施致しました。そして、10月1日には、遂に、ブランディングの発表です。

また、22日には第6回奈良YMCA国際チャリティラン2017を実施致します。全国のYMCAが、今生まれ変わろうとしています。どうか今後もご支援賜りますようお願いいたします。



9月役員会報告

※審議事項

- ・例会の10月・11月の弁当は、奈交フーズに依頼。@1200～1400円（お茶付き）
- ・出欠の連絡は、1週間前までに、出欠確認票に○×を記入、または前田〆・内田〆へ連絡。担当者負担軽減のため積極的な協力を。
- ・例会の会場設営担当者は、午後6:30分までに、会場に到着し諸準備をする。（担当月は事前に予告）
- ・今期メネット事業の提案については、奈良クラブメネット会が主催し、阪和部主査に確認。
- ・国際協力募金 委員長は、林佑幸〆

※協議事項

- ・10月例会 10/9(月・祝) あきしの保育園18時～20時
司会 佐藤ウィメン
卓話「子供をとりまく環境について」林 聖子 様
- ・11月例会 11/13(月) あきしの保育園 19時～21時
司会 平井メン
卓話「相続とお金について（仮称）」川添 登巳雄 様
(プルデンシャル生命・ファイナンシャルプランナー)

※報告事項

<今後のスケジュール>

- 10/ 7(土) 河内クラブ、公開例会 サンホーム 6F @1000円
- 10/14(土) 阪和部主査会・評議会 南YMCA
- 10/22(日) 第6回奈良YMCAチャリティラン 平城宮跡
- 11/11日～12日 名古屋東海クラブ・御殿場クラブ DBC交流

10月 誕生日記念

HAPPY BIRTHDAY

- 8日 内田 勝久
- 10日 佐藤 由佳
- 11日 岩本 二三子
- 19日 市本 善子
- 22日 市本 貴志
- 22日 前田 未帆
- 25日 辻野 啓一



10月の行事予定

日	曜日	行事内容
3	火	大阪サウスクラブ例会
4	水	大阪長野クラブ例会
7	土	和歌山紀の川クラブ例会
9	月	奈良クラブ例会
12	木	大阪堺クラブ例会
14	土	阪和部主査会・評議会
19	木	大阪河内クラブ・和歌山クラブ例会
22	日	第6回奈良YMCA国際チャリティラン
23	月	奈良クラブ役員会
26	木	大阪泉北クラブ例会